



2024年11月11日

各 位

会社名 扶桑電通株式会社  
代表者名 代表取締役社長  
有富英治  
(コード: 7505、東証スタンダード)  
コーポレートインベション本部長代理  
問合せ先 兼 経営企画室長 下山万里子  
(TEL. 03-3544-7211)

### 配当政策の基本方針の変更に関するお知らせ

当社は、2024年11月11日開催の取締役会において、配当政策の基本方針の変更を下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 配当政策の基本方針の変更の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題と位置付け、経営基盤の強化と今後の事業展開に必要な内部留保の充実を勘案した上で、業績に応じた利益還元と安定的な配当を継続的に実施してまいりました。今般、資本コストや株価を意識した経営の実現のために、持続的な利益成長を通じて株主還元を一層充実させていくことが重要との観点から、株主の皆様への安定的な配当を行う姿勢をさらに明確にするため、配当性向に加えて、新たな指標として株主資本配当率(DOE)※を導入いたします。

#### 2. 配当政策の基本方針

(改訂前)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題と位置付け、経営基盤の強化と今後の事業展開に必要な内部留保の充実を勘案した上で、業績に応じた利益還元と安定的な配当を継続的に実施することを基本方針といたします。

① 業績に応じた利益還元として配当性向 35%程度を目安に配当を実施してまいります。

安定的な配当である普通配当を1株当たり20円(中間配当10円、期末配当10円)とし、上記配当性向を目処に計算した配当が20円を上回る場合は、その差を業績連動配当として期末に特別配当の実施をいたします。

② 予期せぬ急激な業績の悪化や自然災害等により、通常の業務運営が困難となった場合を除き、1株当たりの配当は年20円を下回らないものといたします。

(改訂後)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置付け、経営体質の強化ならびに積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、業績に応じた利益配分と安定的、継続的な株主還元を実施することを基本方針といたします。

株主の皆様への利益還元といたしましては、年間の配当金額を配当性向40%を目安に、株主資本配当率(DOE)2.0%を下限に設定し安定的な株主還元を目指します。なお、中間配当につきましては、1株当たり15円といたします。

#### 3. 適用時期

2025年9月期中間配当から適用いたします。

※ 株主資本配当率(DOE) = (年間配当総額 ÷ 株主資本) × 100

以 上